

# 南砺市吉江公民館

## ◆事業の目的

農作業の委託化や機械化により、小学生の農作業の体験の機会が減ってきている。そこで、地元の有志と公民館と農協が協力して農作業の体験の機会を設けて、農作物の栽培技術を子どもたちに伝え、子どもたちの自然を育む心を育てる。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
4月10日(日)	ジャガイモ・人参の定植	高宮地内	24名
5月15日(日)	田植え	高宮地内圃場	60名
9月10日(土)	大根・春菊種まき	高宮地内・高宮営農組合	20名
10月2日(日)	稲刈り体験	高宮地内圃場	65名
11月5日(土)	収穫・感謝祭	高宮地内	15名

## ◆事業の様子

### ☆ 田植え体験

この日集まった小学1年から6年生のみんなが農業未経験ということで、高宮営農組合長からの田植えのコツを真剣に聞いていた。はじめに輪投げのゲームを楽しんでから田植えに挑戦した。植え始めは慣れない様子だったが、コツをつかみ泥の中でもバランスをとりながら植えていった。植え終わって、物足りなさそうな顔をしている子どもがたくさんいた。



### ☆ 稲刈り体験

稲刈り当日は、残暑もなく作業しやすい天候であった。猛暑を耐え切った稲は太く、穂が垂れている。慣れない鎌を使ってゆっくり稲を刈り、まとめて縛るまでの一連の作業に挑戦。しかし、縛るのが至難の技で、営農組合の助っ人に縛ってもらう子がたくさんいた。稲を全て刈り終わり、みんなの顔は田植えと稲刈りを体験できたことで達成感にあふれていた。その後、高宮営農組合の施設の中でもちつきをして、おなかいっぱいになった。

### ☆ 野菜づくり

栽培技術の向上で食べ物の旬が何時なのかわかりにくくなっている。じゃがいも、レタス、人参の種植えと収穫を体験し野菜の旬を感じ取る。事前に高宮営農組合で土をほぐしておいたおかげで、種をスムーズに植える事ができた。収穫の時には、葉っぱを引っ張ってもなかなか掘り起こすことができなかった。掘り起こせた時は歓声を上げていた。最終日は、収穫した人参とジャガイモを使って豚汁を食べた。2、3杯お代りをしてみんな大満足だった。



## ◆事業の成果と課題

お米と野菜作りを通して、子どもたちには収穫の苦労と喜びをわかってもらえた。また、農業は難しいものではなく精魂込めて作ればいいものができるということを体感してもらえた。子どもたちが次代の農業を发展させてくれることと、親子で取り組んだことで家庭の絆も深まり、それが地域の発展につながることに期待できた。今後は子ども好きな高校・大学生などにも参加してもらえる事業にし、縦に横に絆が深め、農村・農業を守っていきたい。

